

## マニユライフ生命、「マニユライフわくわくる一む」14カ所目の寄贈先および「子どもの療養環境向上アイデア」の助成先となる小児医療施設を決定

### 子どもの心身の健やかな成長を支援する社会貢献活動

マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼 CEO: ギャビン・ロビンソン、本社: 東京都新宿区、以下「マニユライフ生命」)は、社会貢献活動の一環として、小児医療施設で療養中の子どもたちのためのプレイルーム「マニユライフわくわくる一む」の設置と、「子どもの療養環境向上アイデア」への助成を行なっています。このたび、2016年の募集・選考を行った結果、マニユライフわくわくる一むの寄贈先として国立研究開発法人 国立国際医療研究センター(東京都)、アイデアの助成先として東北大学病院(宮城県)を選出しました。

マニユライフわくわくる一むプロジェクトは、療養環境として十分な機能を果たす本格的なプレイルームを全国の小児医療施設等に設置する活動です。子どもたちが受ける治療によるストレスを軽減するためには、家庭を思い起こさせるようなリラックスできる空間作りや、他の子どもたちとの関わり合いの中で社会性を育む機会の提供など、療養環境の充実が不可欠です。マニユライフ生命は、わくわくる一むの設計、内装、家具、おもちゃ等のほか運営面も含めて、細部に至るまで専門家の意見が反映された部屋作りを支援しています。これまでに全国12カ所の設置実績があります。

14カ所目のマニユライフわくわくる一む寄贈先として選出された国立国際医療研究センターでは、チャイルドライフ・スペシャリストのほか、常勤の保育士1名を採用していることに加え、院内の療養環境改善委員会がプレイルームの質の維持・向上に努めています。このように運営体制が整っていることが評価され、今回の寄贈先に決定しました。既存のプレイルームは楕円形で、新たにマニユライフわくわくる一むとして整備するにあたり、形状を生かしたユニークな取り組みが期待されています。

また、「子どもの療養環境向上アイデア」の85件目の助成先となる東北大学病院では、幅広い年齢層の子どもたち向けのゲームやアクティビティの充実を図ります。



心身障害児総合医療療育センター(東京都)に設置されたわくわくる一むの様子

マニユライフ生命は、今後も社会貢献活動に積極的に取り組んでまいります。

#### 子どもの療養環境改善活動について

「マニユライフわくわくる一む」の寄贈および「子どもの療養環境向上アイデア」への助成は、マニユライフ生命が特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」とともに、社会福祉法人中央共同募金会の協力のもと継続的に行なっている活動です。2015年には子どもの健全な成育環境の向上への寄与が認められ、「こども環境学会賞活動奨励賞」を受賞しています。



<別紙>

■2016 年度「マニユライフわくわくる一む」寄贈先

施設名(所在地)	概要
国立研究開発法人 国立国際医療研究 センター(東京都)	乳幼児から高校生まで幅広い年齢層の子どもたちが入院する小児病棟。既存のプレイルームは、2014 年にマニユライフ生命の「子どもの療養環境向上アイデア」の助成により、森の四季をイメージしたプリントを窓に施しており、窓が多く開放的で明るい雰囲気。 今回の「マニユライフわくわくる一む」への応募は、現在の大部屋では対応しきれない状況を改善するためのもので、空間を仕切ることによって異なる年齢層や異なる入院期間、感染症と易感染症など子どもたちの多様な状況に対応するための整備を行う。 同センターでは、チャイルドライフ・スペシャリストのほか、常勤の保育士 1 名を採用するなど体制が整っていることに加え、院内の療養環境改善委員会がプレイルームの質の維持・向上に努めており、楕円形のプレイルームでユニークな取り組みが期待できることから、2016 年寄贈先として選出した。子どもたちがより生き生きと自分らしさを発揮できるような療養環境を目指す。

■2016 年度「マニユライフ生命子どもの療養環境向上アイデア」助成先

施設名(所在地)	概要
東北大学病院 (宮城県)	「ゆりかごから AYA 世代まで ~みんなが安心して笑顔で過ごせる病棟を目指して~」 入院中の子どもや家族が安心して過ごせるように、幅広い年齢層の子どもたちの認知・社会的発達を維持・促進できるような玩具を補充する。 現状では、特に青年期の子どもたちが取り組める遊びや活動が不足しているため、Wii の導入やアクティビティを充実させることで改善を図る。また、インテリアを改善し、明るく親しみやすい雰囲気を作る。AYA 世代: 15 歳から 29 歳にかけての世代。Adolescent and Young Adult の略で「思春期および若い成人」を意味し、小児がん治療において使用される。

参考:「マニユライフわくわくる一む」設置実績(2016 年 11 月現在)

	施設名(所在地、選考年)	概要(完成年)
1	近畿大学医学部附属病院(大阪府、2007 年)	病室を改修した病棟プレイルーム(2008 年)
2	豊田厚生病院(愛知県、2007 年)	短期入院用と中長期入院用の 2 つの病棟プレイルーム(2008 年)
3	大阪市立総合医療センター(大阪府、2008 年)	思春期コーナーがある病棟プレイルーム(2009 年)
4	中部ろうさい病院(愛知県、2008 年)	病棟プレイルーム・処置室に連動した外来プレイコーナー(2009 年)
5	旭川厚生病院(北海道、2009 年)	乳幼児コーナーを設けた病棟プレイルーム(2010 年)
6	大阪府立母子保健総合医療センター(大阪府、2009 年)	国内初の青少年向けプレイルーム(2010 年)
7	滋賀県立小児保健医療センター(滋賀県、2010 年)	重症心身障害児向け病棟プレイルーム(2011 年)
8	星総合病院(福島県、2011 年)	東北地方初 本格的プレイルーム(2013 年)
9	心身障害児医療療育センター(東京都、2012 年)	心身障害児向けプレイルーム(2013 年)
10	茨城県立こども病院(茨城県、2012 年)	子ども専門病院における青少年向けプレイルーム(2014 年)
11	北里大学病院(神奈川県、2013 年)	小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015 年)
12	堺市立総合医療センター(大阪府、2014 年)	幅広い年齢の子どもたちに対応する小児病棟プレイルーム・外来プレイコーナー(2015 年)
13	済生会横浜市東部病院(神奈川県、2015 年)	わくわくる一む初となる屋外スペースを含むプレイルームを 2017 年春にオープン予定
14	国立国際医療研究センター(東京都、2016 年)	既存のプレイルームを、新たにわくわくる一むとして整備し、2017 年にオープン予定。ユニークな取り組みが期待される楕円形のプレイルーム。



### 特定非営利活動法人「子ども健康フォーラム」について

「子ども健康フォーラム」は、未来のある子どもたちに、その胸に夢と希望がもてるような環境を整えることが必要不可欠であるという考えを持っています。日本有数の先進的小児保健医療施設である「あいち小児保健医療総合センター」(愛知県大府市)をはじめとする小児医療諸施設の装飾支援、プレイルーム支援、子どもの健康に関する施設でのイベント開催支援等を行っています。病児やその家族が癒され、勇気をもって治療を受けられる手助けとなる病院の環境づくりは、高い社会的評価を受けているところです。(http://www.npo-cln.com/)

### 社会福祉法人中央共同募金会について

社会福祉法人中央共同募金会は、全国 47 都道府県共同募金会の連合体で、赤い羽根をシンボルとする共同募金運動の全国的な企画、啓発宣伝、調査研究、都道府県共同募金会の支援等を行っています。また、全国的な視野により活用される寄付金や 2 以上の都道府県で活用される寄付金の受け入れ及び調整や民間助成資金・公益信託などの取り扱いを通して民間福祉事業の推進に大きな役割を果たしています。(http://www.akaihane.or.jp/)

### マニユライフ生命について

マニユライフ生命は、125 年以上の歴史を持ち、カナダを本拠とする大手金融サービスグループ、マニユライフ・ファイナンシャル・コーポレーション(マニユライフ)のグループ企業です。プランライト・アドバイザー(自社営業職員)、金融機関、代理店の 3 つの販売チャネルを通じて、法人ならびに個人のお客さまへ、先進的な商品と質の高いサービスを提供しています。ブランド・スローガン「今日を生きる。明日をひらく。」のもと、お客さまが自ら健康で豊かな未来を切りひらいていくためのサポートをしています。(www.manulife.co.jp)

